

学校支援を積極的に進める

地域やボランティアと協働し、学校支援を行うPTA活動

稲沢市立稲沢北小学校PTA

1 はじめに

稲沢市は、愛知県の北西部、濃尾平野の中央に位置する、人口およそ14万人、総面積79.3km²の市である。肥沃な土壌と温かな気候を生かし、植木や苗木、盆栽の生産、野菜などの産地として発展してきた。ギリシャのオリンピア市とは、昭和62年に姉妹都市提携を、中国の赤峰市とは、平成元年に友好都市提携を結んでいる。特に、オリンピア市とは毎年中学生の交流が行われており、オリンピック開催の年は、聖火リレーにも参加している。

本校は、周りを田んぼに囲まれた、とてもどかで落ち着いた雰囲気のある地域である。昭和53年に創立し、今年で45年目を迎える。本年度は、学級数14、児童数328名、PTA会員257名でスタートした。校訓「汗する子 耐える子 考える子」を基に、明るく、元気で、自分の考えをもち、自他を大切にできる児童の育成を目指して、家庭や地域と学校が連携を図り、児童の健全育成に努めている。



【運動場から見た校舎】



【本校のシンボル“ケヤキの樹”】

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

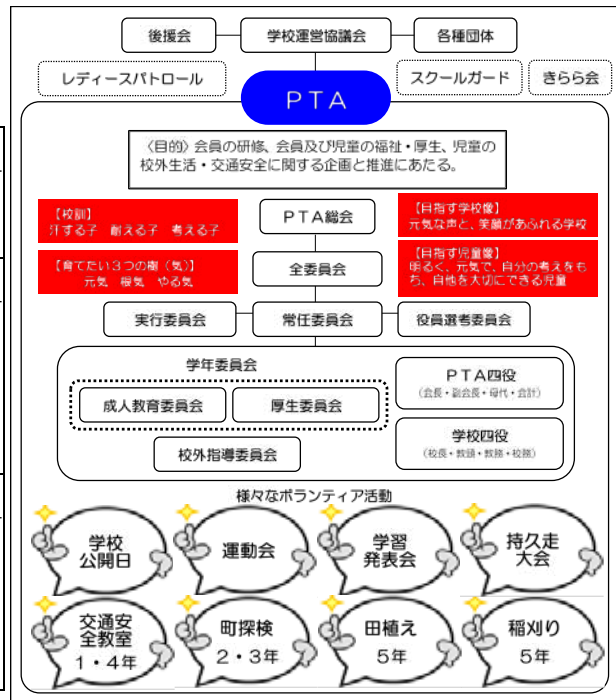
本校PTAは、保護者と教職員がともに協力し合って様々な活動の充実を図ることで、児童の健やかな成長を支えている。特に、各種行事にはボランティアとして積極的に関わり、児童を温かく見守り、多くの教育活動に参加している。近年は、新型コロナウイルス感染症対策により、これまで築いてきたPTA活動の内容や活動自体の在り方を見直さなければならない状況となっている。そのような中でも、家庭・地域・学校が連携を図り、児童を皆で育てていくために、PTAとしてどのような支援が可能かを模索し、活動している。

(2) PTAの組織と活動内容

本校のPTAは、会長、副会長、母代、会計の四役と各学年2名の学年委員がそれぞれに所属する「成人教育委員会」と「厚生委員会」、各地区から1名ずつ選出される「校外指導委員会」のあわせて26名で組

織されている。各委員会の活動内容は以下の通りである。

<p>★成人教育委員会（顧問：母代） 会員の研修に関する企画・推進 （教養講座・学校保健委員会）</p>
<p>★厚生委員会（顧問：会計） 会員及び児童の福祉・厚生に関する企画・推進 （給食試食会・教養講座・学校保健委員会）</p>
<p>★校外指導委員会（顧問：副会長） 児童の校外生活・交通安全の指導に関する企画・推進 （通学路点検・校外指導パトロール【夏休み】）</p>



【PTAの組織及び活動】

3 実践活動の概要

(1) 学校行事全体に関わる活動

① 学校給食試食会

児童が日頃食べている給食に対して、保護者に関心を高めてもらうための活動として、年に一回、厚生委員会が希望者を対象に実施している。児童と同じように役割分担をして配膳し、会食の時間を設けた。例年は、1年生の配膳の様子を参観していたが、本年度はコロナ禍のため、1年生や6年生の配膳の様子などをビデオで視聴した。会食の後、栄養教諭のミニ講座を開催し、学校給食の現状や人気メニューの作り方レシピの紹介などを行った。参加した保護者からは、「バランスなども考えられていてとてもおいしかった」「もっといろいろなレシピを発信してほしい」など大好評であった。



【給食試食会の配膳の様子】

② 稲北運動会

本年度は、3年ぶりに全校で行う運動会となったため、参観する保護者も多いことが予想された。そこで、ボランティアを募り、受付や駐輪場の整理、誘導などを行った。特に、受付では、できるだけ密にならないように誘導したり、検温の協力を呼びかけたりするなど、コロナ禍の中であってもスムーズに参観者を受け入れることができた。多くのボランティアの方々のお陰で、運動会を参観した保護者からは、「コロナ対策をしっかりしていただき、安心して参観できた」などの声が聞かれた。



【運動会での受付の様子】

(2) 学年行事に関わる活動

① 交通安全教室

1年生と4年生を対象に、毎年5月に交通安全教室を開催している。稲沢警察署の方や交通指導員を講師としてお招きし、交通ルールやマナー、横断歩道を渡る際や自転車に乗る際の道路交通法を学ぶ機会としている。ボランティアで参加した保護者は、交差点や危険なポイントに立って、先生方とともに横断の仕方を指導した。この行事に参加したことで、保護者自身も児童と一緒に学ぶよい機会となった。



【横断歩道を渡る児童を見守る様子】

② 町探検

2年生や3年生の町探検では、複数のコースを設定するため、多くの引率者が必要になる。そこで、毎年ボランティアを募集し、児童を見守っていただいている。様々な方面へ出かける児童に寄り添って、交通事故に巻き込まれないようにする目配りだけでなく、困っている様子を見かけたら声をかけ、優しく支援する気配りもあるため、児童も安心して町探検に出かけることができた。



【町探検で児童を見守る様子】

③ 田植え・稲刈り

5年生を対象に、毎年6月に田植え、10月に稲刈りの体験活動を行っている。本校の特色ある活動として、地域体験活動の講師をお招きし、一年を通して、米作りについて学んでいる。田植えの際は、初めは、どの子も田んぼに足を取られて思うように歩くことができず、苦戦する様子が見られたが、やがてコツをつかみ、印を頼りに丁寧に苗を手植えすることができた。また、稲刈りの際も、ボランティアの方々に助けをいただき、自分で植えた稲の収穫を、児童と一緒に喜びを分かち合う姿も見られた。初めての体験だけに、ボランティアの方の助けがとてありがたく、児童も貴重な体験となった。



【田植えをサポートする様子】



【稲刈りをサポートする様子】

④ 持久走大会

本校では、2月に持久走大会を開催している。コースは学校の外周も含まれるため、交通安全には十分に注意を払わないといけない。そこで、毎年たくさんの保護者ボランティアの方々が参加して、先生方とともに交通整理や安全確認を行っている。当日



【持久走大会で児童に寄り添う様子】

は児童の安全だけでなく、歩いてしまった子に声をかけたり、一緒に併走したりするなど、より多くの目で見守り、事故防止に努めている。

(3) 地域の方による支援活動

① あいさつ運動

スポーツ振興及び豊かな人間関係づくりの一環で、地元のプロバレーボールチーム「ウルフドックス名古屋」の選手やマスコットとのふれあいの場として、毎年登校時にあいさつ運動を行っている。1年生にとっては初めての体験だったため、最初は少し戸惑っていたが、上級生が元気よくあいさつをしている様子を見て、徐々に選手やマスコットの周りに近づき、コミュニケーションをとる姿が見られた。



【あいさつ運動の様子】

② 登下校時の見守り

児童が安心・安全に登下校することができるよう、校外指導委員会を中心に、保護者が交通立番を行っている。また、保護者以外にも地域の方にはご厚意で、スクールガード活動に協力していただいている。本校周辺は、道が狭いわりに車の往来が激しく、通学団で登校する児童にとっては危険箇所が



【レディースパトロールの活動の様子】

が多い。そのため、登下校を見守っていただける方々の存在は、非常にありがたい。また、定期的に一斉下校時にレディースパトロールの皆さんにも付き添っていただくことで、交通安全への意識を高める機会としている。

4 おわりに

児童の健やかな成長は、PTAや地域の方、学校に支えられている。これからも無理のない範囲で、PTAとして、保護者や地域に学校支援への参加を広く呼びかけ、学校教育活動への理解を深めていくことが大切であると再認識した。今後も、学校や地域との協働について模索し、PTA活動をより充実させていけるよう取り組んでいきたい。